

ま ちの話題

みんな上手に描きました

久我記念館夏休みワークショップ「アートに触れる夏(その3)」(同館など主催)が、美術センター久我記念館で開催されました。

8月26日(日)は、水墨画家の秦生さんを迎え、習字道具の筆でパンダや朝顔、竹と雀の描き方を習いました。9月2日(日)は、洋画家の尾花成春さんにデッサンの方法やプロの作家が体験してきたことを習いました。

参加した子どもたちは、作家から直接指導を受けるといふ貴重な体験をしました。帰る際には、絵がうまくなるようにと握手をする子どももいました。



水墨画にチャレンジする子どもたち

敬老の日 長寿を地域でお祝い

9月17日(月)は敬老の日です。町内の、70歳以上のお年寄りは3056人(9月1日現在)です。内訳は男性が1165人、女性が1891人で、町人口の11.82%を占め、昨年の同時期と比べて97人増えています。

この敬老の日を前後して、町内各地区で敬老会が催され長寿を祝いました。

城山区では、9月16日(日)に同区公民館で敬老会が行われました。敬老者約60人が出席して、踊りやゲームなどの催しで長寿を地域みんなで祝いました。



敬老の日をコーラスでお祝い

東中太鼓部が 2年連続の快挙!

須恵東中学校(柴田幸尚校長)太鼓部が、8月24日(金)と25日(土)に東京都の青山劇場などで行われた、第6回東京国際和太鼓コンテストに出場しました。

同部の、このコンテストへの出場は2年連続となるものです。

同部の生徒たちは、全国各地から選ばれたチームを前に、福岡県を代表して見事な演奏を披露しました。



2年連続の出場を果たした東中太鼓部

糟屋6町合併説明会・懇談会を開催

糟屋6町の合併に関する住民説明会と懇談会が、9月3日(月)・4日(火)・6日(木)に町内の各小学校体育館で開催されました。これは、本年1月に開設された糟屋6町合併研究会で議論している合併問題に関し、住民のみなさんに説明して意見を聞くことを目的に、各校区コミュニティ主催で行われたものです。この説明会に、3会場合わせて424人の参加者がありました。



熱心に聞き入る参加者

中嶋町長は、「合併は、地方分権化が進んでいく中での、新しいまちづくりとしての手段です。合併ありきというような、合併化を目的としたものではありません。みなさんの率直な意見をいただきたい。」とあいさつをしました。説明会は、同研究会事務局が作成した「まちづくり構想」の資料をもとに行われました。その後、懇談会が行われました。参加者からは、「合併後の人口や面積は適正なのか」「『すえ』という名前は残るのか」「6町でリーダーシップ的な町はどこか」「3年前の合併問題の時は財政破綻は問題にならなかったではないか」などの意見が出され、合併問題に対する関心の高さが伺えました。



現状を説明する合屋総務課長

軽スポーツ用具を貸し出します ご利用ください

町ではこのほど、(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業の補助を受けて、グランドゴルフやターゲットバードゴルフ、シャフルボードなどの用具を購入しました。

今回購入した用品は、社会教育課を窓口として貸し出します。町内各地区のイベントやサークル活動にご利用ください。

●問合せ先 役場社会教育課 ☎934-0030



(財)自治総合センターの補助で購入した軽スポーツ用具



ターゲットバードゴルフ、シャフルボール、机など



脚立、噴霧器など